

令和 7 年度

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 カンガルー療育支援室横浜北部ステーション

公表日 2025年 3月 9日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	・休み期間は人数も多く部屋も狭いため大変。常に整理してスペースを開けるようにしている	・人数が多い時は物品を移動して広く過ごせるように配慮している ・長期休みで放デイと児発が一緒の時はもっと広いといいかと思う ・長期休暇時、人数が増えるため狭さを感じる
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	・長期休み中などは人手が不足することもあるが、スタッフ同士で声をかけ合いながら安全確保に努めている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	5	・玄関や「部屋の入り口など狭い部分はあるが怪我のないようよく注意しながら移動するようにしている ・玄関、部屋の出入り口は構造上ギリギリの範囲のため、リスクを考え、職員は入り方などを考え工夫して対応している ・出入口を曲がる時、パギーによって先が見えにくいため2人介助している ・ふさんのつけ置きや排便時のエプロン着用など常にルールがアップデートされている	・玄関とベランダの段差をなくしたいがスペース的に難しい ・大きい車椅子が多いので移動する動線が狭いと感ずる時がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1	・日々の清掃、定期的な見直しを行っている	・こどもの人数が多いと子どもたちが自由に動けないと感じることがある
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	・完全に部屋が分かれているわけではないがなるべく自由に過ごせるように配慮している ・部屋数に限りがあるので	・スペース的に個別部屋は難しいと思われるが面談室など空きがあれば使える個別の部屋が欲しい
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	2	・朝の会や話し合いなどで職員間の共有ができていると思う	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・朝の会や話し合いなどで職員間の共有ができていると思う	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・朝の会や話し合いなどで職員間の共有ができていると思う	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	10		・第三者評価の実施はない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13			
	13 児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13			
	14 児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	・できていると思うが計画書の内容はもっと共有していきたい	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	6		
	16 児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画には、児童発達支援ガイドライン及び放課後等デイサービスガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		・話し合いを定期的に持ち決めている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	・楽しいものは工夫しつつ、固定もありだと思う	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	2	・個別に考えているが集団をメインで活動を考えている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1		・支援開始前の打ち合わせは送迎があり全員参加ができていない。勤務時間を15～30分早くしてはどうか
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	8	・送迎があるため打ち合わせは朝のみ ・次の日の朝の会で共有できている ・共有は翌朝に行なっている ・振り返り時間を確保するとよいと思う	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	2	・連絡帳に記録を残しているが細かく日々の支援を何かに記録などはしていないので、変わったことや気になること、良かったことなどは細かく共有していてもよいと思った。 ・もう少しじっくり支援の検証をできたらいいと思う	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			
	24	※放課後等デイサービスのみ 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	13			
	25	※放課後等デイサービスのみ こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	3	・協力はしているが体制は整っていない	
	28	※児童発達支援のみ 併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	3	・不明	
	29	※児童発達支援のみ 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	・不明	
	30	※児童発達支援のみ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	10		・難しいが取りいれていきたい ・公園などで子供と関わることはあるが保育園、幼稚園との交流はないのでできたらいいと思う
	31	※放課後等デイサービスのみ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13			
	32	※放課後等デイサービスのみ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	5	・療育センターとの連携はある	
	33	※放課後等デイサービスのみ 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	4	・機会があれば行う ・機会があればできる準備はある	
	34	※放課後等デイサービスのみ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	11	・機会があれば行う ・不明 ・地域の子どもの交流は散歩などで挨拶をする ・地域のこどもと活動する機会を確保するとよいと思う	
	35	※放課後等デイサービスのみ （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	1		
36	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	6	・見学に行ったことがある		
37	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13				
38	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	9			
39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13				
40	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13				

保護者への説明等	41	「児童発達支援計画」及び「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13			
	42	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		・とても親身になって相談や悩みに対応しているスタッフが多いと思う	
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	9	・今年度初！予定している ・親子リトミックなどで少しずつ交流ができていると思う。保護者会など次年度より検討中である	・保護者会、兄弟交流などの実施はない。企画検討中
	44	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		・保護者に寄り添い、なるべく希望に応えられるよう対応していると思う	
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13		SNSなどを通して日々の様子を発信して共有できるように工夫している	
	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			
	47	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			
	48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	9	・招待はしていないが参加している ・不明 ・招待ではない？が他の事業所に行くことはある	
非常時等の対応	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		・係のスタッフが、計画を立てて訓練を行っている	
	50	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13			
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13			
	52	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13			
	54	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13			
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13			
	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13			
57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	3	・身体拘束をする機会はない		